

# CRWU-B1210

## ユーザーズマニュアル

はじめに .....	7	<b>1</b>
セットアップ .....	10	<b>2</b>
取り扱いかた .....	14	<b>3</b>
書き込みと読み出し .....	18	<b>4</b>
音楽CDを聴くには .....	23	<b>5</b>
付録 .....	24	<b>6</b>

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

注意マーク ..... **▲注意** に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... **▶次▶** に続くページは、次にどのページへ進めば良いかを記しています。

## 文中の用語表記

・Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。

A: フロッピーディスクドライブ

C: ハードディスクドライブ

・本製品を「CRWU」と表記しています。

・文中「」で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・CD-ROM、音楽CD、CD-RW / CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。

・付属のWinCDRユーザーガイド\* およびMacCDRユーザーガイドには、CD-RWに関する用語集が記載されています。本書に意味が分からない用語があったときは、WinCDRユーザーガイド\* またはMacCDRユーザーガイドの用語集を参考にしてください。

\*「WinCDRユーザーガイド」は、印刷物ではなくオンラインマニュアルとして提供されます。WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

## 著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CRWUを使用時の複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

BURN-Proofは、三洋電機株式会社の商標です。また、本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書では™、®、©などのマークは記載していません。

BURN-Proofは、Buffer Under Run errorにProofする（耐える）技術を表す造語です。耐火を意味するものではありません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お問い合わせになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- ・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

## 使用している表示と絵記号の意味

### 警告表示の意味

 <b>警告</b>	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

### 絵記号の意味

	は、警告・注意を促す記号です。 の近くに具体的な警告内容（例：  感電注意）が描かれています。
	に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：  分解禁止）
	は、しなければならない行為を示す記号です。 の近くに、具体的な指示内容（例：  プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## 警告



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。



禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。



強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。



禁止

ACアダプタを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。  
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- ・ 設置時に、ACアダプタを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- ・ 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- ・ ACアダプタを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・ 極端に折り曲げないでください。
- ・ ACアダプタを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、ACアダプタが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。



電源プラグを  
抜く

本製品の取り付け、取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグをコンセントに接続したまま取り付け、取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。



強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。



強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。



強制

濡れた手で本製品に触れないでください。

ACアダプタがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。



電源プラグを  
抜く

煙が出たり変な臭いや音が出たら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



水場での  
使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。  
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。



電源プラグを  
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを  
抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



禁止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

## 注意



強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱い、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・強い磁界、静電気が発生するところ
- ・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ・ほこりの多いところ  
故障の原因となります。
- ・振動が発生するところ  
けが、故障、破損の原因となります。
- ・平らでないところ  
転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- ・直射日光が当たるところ
- ・火気の周辺、または熱気のコモるところ  
故障や変形の原因となります。
- ・漏電、漏水の危険があるところ  
故障や感電の原因となります。



強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。



強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。



禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。



注意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- ・直射日光を当てないでください。
- ・シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- ・表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- ・高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ・表面に手を触れないでください。両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- ・持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取扱いってください。



禁止

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。  
本製品内部で碎けて、けがや故障の恐れがあります。



禁止

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剝離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- ・表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- ・メディア同士を重ねないでください。
- ・レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- ・シールやラベルなどを貼らないでください。



禁止

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。  
本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。  
CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。



禁止

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。  
故障の原因となります。



強制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。  
本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。



禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。  
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



禁止

本製品のアクセスランプが点滅している時は、本製品からUSBケーブルやACアダプタを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。データが消失、破損する恐れがあります。



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。  
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

# 目次

## 1 はじめに ..... 7

特長 .....	7
必要なパソコン環境 .....	8
各部の名称 .....	9

## 2 セットアップ ..... 10

セットアップ手順 .....	10
取り付けの前に .....	11
注意事項 .....	11
NEC PC98-NX シリーズを使用しているとき .....	12
Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順 .....	12
Macintosh でのセットアップ手順 .....	13

## 3 取り扱いかた ..... 14

使用時の注意 .....	14
メディアの取り扱いに関する注意 .....	14
CD のセット / 取り出し .....	15
CRWU の取り外しかた .....	16
WindowsMe/98 .....	16
Windows2000 .....	16
Macintosh .....	17

## 4 書き込みと読み出し ..... 18

書き込み .....	18
ライティングソフトウェアの特徴 .....	18
書き込み方式 .....	20
書き込み動作確認メディア .....	21
制限事項 .....	21
読み出し .....	22

## **5** 音楽CDを聴くには ..... 23

オーディオ機器の接続 ..... 23

再生のしかた ..... 23

Windows 搭載パソコン ..... 23

Macintosh ..... 23

## **6** 付録 ..... 24

困ったときは ..... 24

一般的なトラブル ..... 24

読み出し時のトラブル ..... 29

書き込み時のトラブル ..... 30

OSの再セットアップ ..... 32

万が一に備えての準備 ..... 32

パソコンが起動しなくなったとき（パソコンの環境を復元するとき）.. 33

起動ディスク作成ユーティリティの使いかた ..... 33

NORTON Ghost でシステムを復元する ..... 36

CD革命 /Virtual について ..... 37

仕様 ..... 39

パッケージの内容 ..... 40

# 1

## はじめに

CRWU の特長や、メディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前を知って  
おいていただきたいことを説明しています。

### 特長

CD-R/RW メディアに書き込み可能

CRWU は、CD-RW メディアと CD-R メディアにデータを  
書き込めます。転送速度は次のとおりです。

・ CD-RW 書き込み時

最大 1200KB/sec (最大 8 倍速) (\*1、\*2)  
600KB/sec (4 倍速) 300KB/sec (2 倍速)

・ CD-R 書き込み時

最大 1200KB/sec (最大 8 倍速) (\*1) 600KB/  
sec (4 倍速) 150KB/sec (1 倍速)

・ 読み出し時：最大 1200KB/sec (最大 8 倍  
速) (\*1)

- \*1 お使いのパソコンの USB の転送速度に依  
存します。
- \*2 CD-RW メディアに 4 倍速を越える速度で書  
き込みをするためには、High Speed 対応  
の CD-RW メディアが必要です。

バッファアンダーラン (書き込みエラー) を回避  
する「BURN-Proof」機能を搭載  
CD-R/RW メディアへの書き込み中に他のアプリ  
ケーションで作業をしても、バッファアンダーランが  
発生しません。【P8 「BURN-Proof とは?」】

USBコネクタ (USBダウンストリームポート) に接続  
可能

パソコンの USB コネクタ (USBダウンストリームポート)  
に接続できます。

MP3 データファイルから、音楽 CD (CD-DA) を作  
成できます。

CD のバックアップが可能

CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフ  
ライバックアップと、CRWU1 台だけでも可能な方  
法 (ハードディスクに CD のイメージを作成する方  
法) があります。

多彩なフォーマット形式をサポート

次の CD のフォーマット形式をサポートしています。

○ : サポートする    - : サポートしない

CDの フォーマット形式	読み出し	書き込み		
		WinCDR (WindowsMe/98/2000)	PacketMan (WindowsMe/98)	MacCDR (Macintosh)
CD-DA (音楽CD)			-	
CD TEXT (*1)			-	
CD-ROM (Mode1)				
CD-ROM XA			-	
Photo CD	(*2)	(*3)	-	(*3)
Video CD		(*4)	-	(*4)
CD Extra			-	
HFS	(*5)	-	-	
ハイブリッド(*6)		-	-	

\*1 パソコンで再生する場合は、再生ソフトウェアが CD TEXT に対応している必要があります。(CRWU  
付属の WinCDR の CD プレーヤーは、CD TEXT に対応しています。)

オーディオ機器で再生する場合は、オーディオ機器が CD TEXT に対応している必要があります。

\*2 読み出しには、再生ソフトウェアが別途必要です。

\*3 JPG ファイルなどの画像データは、Photo CD 形式ファイルへは変換できません。

\*4 Video CD 形式ファイルへの変換には Video CD の規格に準拠したファイル形式 (\*.MPG など) でキャ  
プチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

\*5 Mac OS 用のフォーマット形式です。Macintosh で読み出すことができます。

\*6 ISO9660 と HFS の混在フォーマットです。

## 必要なパソコン環境

DOS/V 機、PC98-NX シリーズ

- CPU ..... Pentium133MHz 以上  
(Pentium 233MHz 以上推奨)
- メモリ ... 32MB 以上 (64MB 以上推奨)
- OS ..... WindowsMe/98/2000
- ハードディスク空き容量  
WinCDR のインストール用に約 8MB  
書き込み時の一時的な作業領域として約 50  
~ 800MB (\*1)

\*1 書き込むデータの容量によって異なります。  
ただし、オンザフライでの書き込み時には作  
業領域を使用しません。

PowerMacintosh G3、PowerMac G4、  
PowerMac G4 Cube、iMac、iBook、PowerBook

- アプリケーション/RAM ... 16MB
- メモリ ..... 32MB 以上  
(64MB 以上推奨)
- OS ..... Mac OS8.6 以降
- ハードディスク空き容量  
MacCDR のインストール用に約 5MB  
書き込み時の一時的な作業領域として約 50  
~ 800MB (\*2)

\*2 書き込むデータの容量によって異なります。  
ただし、オンザフライでの書き込み時には作  
業領域を使用しません。

### BURN-Proof とは？

従来の CD-R/RW ドライブでは、CD-R/RW メディアへの書き込み中に他のアプリケーションを起動したりすると、CD-R/RW ドライブのバッファ(\*)が瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう「バッファアンダーラン」と呼ばれるエラーが発生していました。

\* パソコンから送られてくるデータを一時的に保管しておく装置

このエラーを防ぐために開発されたのが、「BURN-Proof」という技術です。

この技術を簡単に説明すると、次のようになります。

CD-R/RW ドライブ内のバッファに貯められているデータの量を監視する

データが無くなりそうになったら、いったん CD-R/RW メディアへの書き込みを止める

書き込みを中断した場所を記憶する

バッファにデータが溜まったら、で記憶した位置から書き込みを再開する

\* 書き込みを一時中断した時間分だけ書き込み時間が長くなります。

この働きにより、データの書き込みが途切れてしまった場合でも、続きのデータを継ぎ目なく書き込めるのです。

**△注意** BURN-Proof は、バッファアンダーランにのみ有効な機能です。次の状況では働きません。

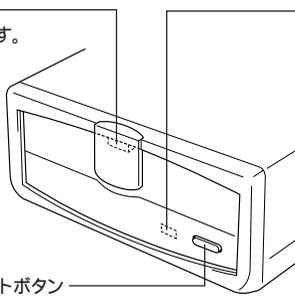
- 停電や電源切断
- パソコンやソフトウェアの故障 / 異常
- CRWU に衝撃を与えた場合や、CD-R/RW メディアの異常
- 記録する元データやドライブ (CD-ROM ドライブなど) の異常

BURN-Proof は、Buffer Under RuN error に Proof する(耐える)技術を表す造語です。  
耐火を意味するものではありません。

# 各部の名称

## 前面

電源ランプ  
電源 ON 時に点灯します。



アクセ斯拉ンプ

緑色に点灯：

CD が挿入されているとき  
データの書き込み中に BURN-  
Proof 機能が働いたとき

黄色に点滅：

データを読み出しているとき  
音楽 CD 再生時は黄色に点灯

オレンジ色に点滅：データを書き込んでいるとき

イジェクトボタン

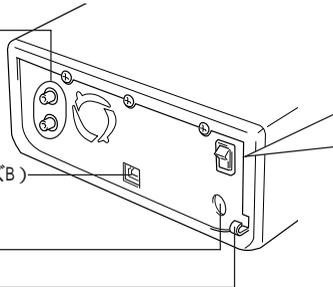
## 背面

オーディオ出力端子

USBコネクタ(シリーズB)

DC コネクタ

フック



電源スイッチ



ON：CRWU の電源を強制的に ON にします。

AUTO：パソコンに連動して自動的に電源の ON/OFF が切り換わります(出荷時設定)。

**△注意** CRWU は図のように横置きで設置してください。縦置きでは使用できません。

1

はじめに

# 2

## セットアップ

CRWU をパソコンに取り付ける手順やCRWU の使いかたについて説明しています。

### セットアップ手順

CRWU のセットアップ手順は次のとおりです。

< Windows搭載パソコン >

< Macintosh >

**❖ 注意** 別紙「はじめにお読みください」を必ず参照してください。

CRWUのDCコネクタにACアダプタを接続し、  
ACアダプタをコンセントに接続する

CRWUのDCコネクタにACアダプタを接続し、  
ACアダプタをコンセントに接続する

周辺機器 パソコンの順に  
電源スイッチをONにする

周辺機器 パソコンの順に  
電源スイッチをONにする

付属の「CRWUシリーズユーティリティCD」を  
CD-ROMドライブにセットする( \* )

「MacCDR」と記載された付属のCDで「MacCDR」  
と「USBドライバ」をインストールする  
【別冊「MacCDRユーザーガイド」参照】

「簡単セットアップ」が起動したら、  
画面の指示に従って操作する

CRWUにUSBケーブルを接続する

- ・「WinCDR」をインストールする  
【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」参照】
- ・「PacketMan」をインストールする  
【別冊「PacketManクイックスタートガイド」参照】

パソコンにUSBケーブルを接続する

MacCDRを起動する

WinCDRまたはPacketManを起動する

**△注意** MacintoshでMacCDR以外のライティングソフトウェアをインストールしている方へ  
MacCDRをインストールする前に、ライティングソフトウェアのCD-ROM用ドライバを必ず無効に  
してください。有効のままMacCDRをインストールすると、ドライバが競合し、正常にパソコンが  
再起動しないことがあります。ドライバの有効/無効は、[アップルメニュー]-[コントロール  
パネル]-[機能拡張マネージャ]で設定できます。

\* CD-ROMドライブのないパソコンを使用している場合は、付属のフロッピーディスク「CRWUシリーズドライバディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスク内の「EASYSETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

# 取り付けの前に

## 注意事項

パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア(フロッピーディスク、MOディスクなど)に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア(フロッピーディスクなど)にバックアップしてください。

CRWUはパソコンのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないDOS/V機やPC98-NXシリーズを使用している場合は、弊社製USBボードUC1-P2(別売)を使用してください。

1台のパソコンに、USB接続のCD-RWドライブ(本製品を含む)を2台以上接続して使用することはできません。

CRWUは、パソコン本体の省電力機能(サスペンド機能、スリープ機能など)には対応していません。**パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。**

MacintoshにCRWUを接続する場合は、事前に「MacCDR」と記載された付属のCDで「MacCDR」と「USBドライバ」をインストールしておいてください。**インストールされていないと、CRWUにCDをセットしてもマウントされません。**

パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

CRWUで書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。**書き込み中にUSBケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。**

パソコンおよび本製品は精密機器です。「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「使用時の注意」【P14】を必ず参照してください。

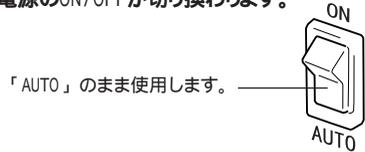
パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

本製品を使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。

- ・パソコン本体のマニュアル
- ・本製品および付属品

CRWUの電源スイッチは「AUTO」のまま使用してください。

AUTOになっていると、パソコンに連動して自動的に電源のON/OFFが切り換わります。



USBハブを使用する場合の弊社推奨製品は次のとおりです。

- ・弊社製 ..... UHB-S7/S4シリーズ
- ・エレコム製 ..... UHC4Sシリーズ、UH-2Bシリーズ
- ・サンクサプライ製 ..... USB-HUB13シリーズ

上記以外のUSBハブの中には、常時バスパワーを供給するタイプの製品があります。この仕様のUSBハブにCRWUを接続した場合、パソコンに連動してのON/OFFの切り換えができなくなります(USBハブに接続中は電源ONの状態のままでのご利用となります)。

## NEC PC98-NX シリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXをアドバンスモード以外のモードで使用していると、CRWUのドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンスモードに変更してください。

- ・モードの確認方法

タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ  の色で確認できます。

赤	アドバンスモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンスモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード / カスタムモード	アドバンスモードに設定を変更してください。

- ・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法

再起動後もアドバンスモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

[スタート]-[プログラム(P)]-[CyberTrio-NX]-[Go To アドバンスモード]の順に選択します。  
アドバンスモードに切り替わります。

[スタート]-[プログラム(P)]-[CyberTrio-NX]-[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。  
[CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンスモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンスモードに設定されました。

本製品のドライバをインストールした後はアドバンスモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

## Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従って作業します。別紙「はじめにお読みください」を参照してセットアップしてください。

 **メモ** CRWUのドライバが正常にインストールされると、[デバイス マネージャ]に次のデバイスが追加されます。

WindowsMe/98 ... [CD-ROM]に[PLEXTOR CD-R PX-W1210A]が追加されます。  
[ハードディスク コントローラ]に[USB-IDE Mass Storage Controller]が追加されます。  
[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]に[USB-IDE Bridge Adapter]が追加されます。

Windows2000 ..... [DVD/CD-ROMドライブ]に[PLEXTOR CD-R PX-W1210A USB Device]が追加されます。  
[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]に[USB-IDE Bridge Adapter]が追加されます。

[デバイス マネージャ]は次の方法で表示できます。

WindowsMe/98: [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック [プロパティ(R)] をクリック [デバイス マネージャ] をクリック

Windows2000: [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック [管理(G)] [デバイス マネージャ] をクリック

### CyberTrio-NX

CyberTrio-NXは、パソコンを使う人ごとにWindows98の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定します。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

# Macintoshでのセットアップ手順

CRWUを接続します。

**✕** 別紙「はじめにお読みください」を参照して、事前にCRWUにACアダプタを取り付けておいてください。

**△注意** CRWUを接続する前に、必ずMacCDRをインストールしておいてください。MacCDRをインストールしないと、CRWUにセットしたCDがマウントされません。

## 1 付属のUSBケーブルをCRWUのUSBコネクタに接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

< USBケーブルのコネクタ形状 >



シリーズA



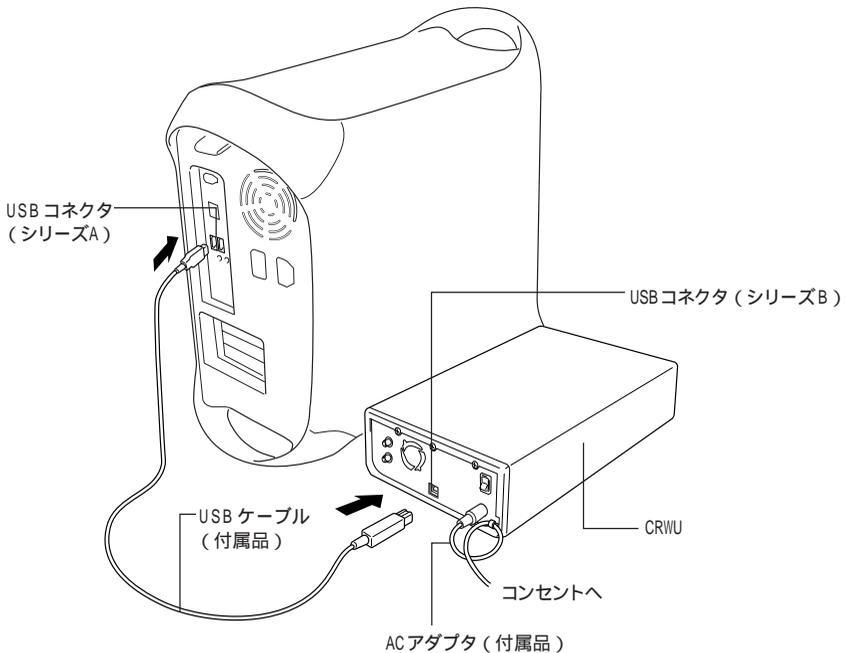
シリーズB

(パソコン側に接続) (CRWUに接続)

## 2 CRWUのACアダプタをコンセントに接続します。

## 3 パソコンの電源スイッチをONにします。

## 4 パソコンのUSBコネクタ(シリーズA)にUSBケーブルを接続します。



以上でCRWUの接続は完了です。

# 3

## 取り扱いかた

CRWUの基本的な操作方法を説明します。

### 使用時の注意

USB用ケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

CRWUはホットプラグに対応しています。CRWUやパソコンの電源スイッチがONの時でもUSBケーブルを抜き差しできます。

**△注意** CD-R/RWメディアにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。CD-R/RWメディア内のデータが破損するおそれがあります。

メディアへの書き込み中やCDの再生中にCRWUを動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

CRWUを不安定な場所(平らでない場所、傾いた場所など)に設置しないでください。

CRWUの上に物を置かないでください。

USBケーブルを抜く前に、CRWUからCDを取り出してください。

CRWUがパソコンに接続されていないときは、CRWUのイジェクトボタンが動作しません。USBケーブルを抜いた状態でCDを取り出したいときは、CRWUの電源スイッチを「AUTO」から「ON」にしてから、イジェクトボタンを押してください。【P11】

電源スイッチについて

CRWUの電源スイッチは「AUTO」のまま使用してください。AUTOになっていると、パソコンに連動して自動的に電源のON/OFFが切り換わります。

CRWUにCDを入れたままパソコンの電源をOFFにしてしまった場合にだけ、CRWUの電源スイッチをAUTOからONにしてください。イジェクトボタンを押せばトレイが出てきます。ただし、停電などによってCRWUの電源もONにならないときは、「トレイが出ないとき」【P15】の手順に従ってCDを取り出してください。

### メディアの取り扱いに関する注意

メディアは繊細です。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

直射日光に長時間さらさないでください。

記録面に手を触れないでください。

記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

シールやラベルなどを貼らないでください。

メディア同士を重ねないでください。

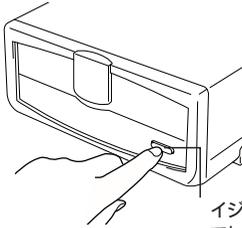
レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

メディアに傷を付けしないでください。

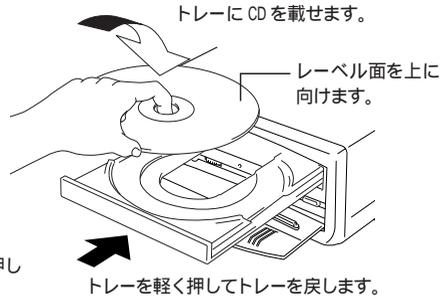
# CDのセット / 取り出し

## CDをセットする

パソコンとCRWUをUSBケーブルで接続します。



イジェクトボタンを押してトレーを出します。



**△注意** CDをセットする前に、USBケーブルでCRWUとパソコンを接続し、パソコンの電源をONにしてください。

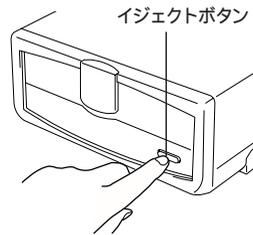
## CDを取り出す

Windows搭載パソコンの場合は、イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。

トレーを軽く押してトレーを戻します。

Macintoshの場合は、デスクトップに表示されているCDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。トレーが出てきたらCDを取り出し、トレーを軽く押してトレーを戻します。

ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。



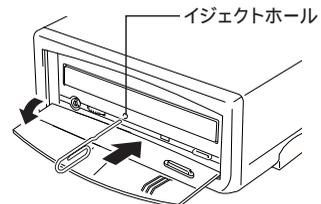
**△注意** アクセランプが点滅しているときは、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。CDやCRWUが破損するおそれがあります。

- メモ**
- WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある[イジェクト]アイコンをクリックしてください。
  - PacketManをインストールした環境で、バケットライト方式で書き込まれたメディアをCRWUにセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面の[マイコンピュータ]内にあるCD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択してください。

## トレーが出ないとき

停電などによって、CDが入ったままの状態でも電源が切れてしまうと、イジェクトボタンを押してもトレーが排出されません。

その場合は、トレーのふたの端に爪を差し込んで開き、クリップを伸ばしたものをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。



**△注意** この操作は、CRWUの電源をOFFの状態にして30秒以上待ってから行ってください。電源をOFFの状態にした直後はCDが回転しているため、強制的に排出すると、CDが破損するおそれがあります。

- メモ** 停電ではなく、パソコンの電源スイッチをOFFにした後にCDを取り出したい場合は、CRWUの電源スイッチをAUTOからONにしてください。イジェクトボタンを押せばトレーが出てきます。

# CRWUの取り外しかた

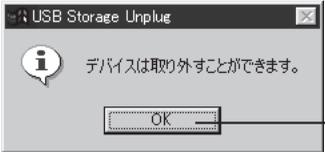
パソコンの電源スイッチがONの状態でも、次の手順でCRWUを取り外すことができます。

**△注意** CRWUの取り外しは、必ずCRWUのアクセスランプが点滅していないことを確認してから行ってください。

## WindowsMe/98

1  タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2  [ USB-IDE Mass Storage Controllerの取り外し ] をクリックします。

3  [ OK ] ボタンをクリックします。

4 USBケーブルをパソコンとCRWUから取り外します。

以上でCRWUの取り外しは完了です。

## Windows2000

1  タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2  [ USB-IDE Adapter - ドライブ (F:) を停止します ] をクリックします。  
(下線部には、CRWUに割り当てられたドライブ名が表示されます。)

次のページへ続く

3



[ OK ] ボタンをクリックします。

4 USBケーブルをパソコンとCRWUから取り外します。

以上でCRWUの取り外しは完了です。

## Macintosh

Macintoshの場合は、取り外しの際に特別な操作は必要ありません。CRWUのアクセスランプが点滅していないことを確認して、USBケーブルを取り外してください。

**△注意** MacCDRが起動しているときは、絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。USBケーブルを取り外す前に、必ずMacCDRを終了させてください。

3

取り扱いかた

# 4

## 書き込みと読み出し

CD-R/RW メディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

### 書き込み

メディアにデータを書き込むときは、CRWU 付属のライティングソフトウェア「WinCDR」、「PacketMan」、「MacCDR」のいずれかを使用します。

ライティングソフトウェアのインストール方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

- △注意** ・著作権者の許諾なしに CD-ROM や音楽 CD を複製することは法律により禁じられています。CRWU を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- ・WinCDR、PacketMan、MacCDR で書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

**■メモ** CD-R/RW メディアの書き込みには次の書き込み速度が選択できます。

	12倍速 (注)	10倍速 (注)	8倍速	4倍速	2倍速	1倍速
CD-R		-			-	
CD-RW	-	-	-			-
CD-RW HighSpeed	-				-	-

：書き込み設定可  
-：書き込み設定不可

(注) 選択できますが、実際の書き込み速度は最大 8 倍速となります。

WinCDR、PacketMan、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アブリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」または「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】

CRWUの操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

### ライティングソフトウェアの特徴

WinCDR

音楽 CD やビデオ CD の作成、CD やドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

- ・Windows 用のライティングソフトウェアです。対応 OS は Windows Me/98/2000 です。
- ・ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスター CD が作成できます。
- ・WinCDR で作成したメディアは、Macintosh でも読み出せます。

ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。

ポリウムラベルとして使用できる文字は、0 ~ 9 および A ~ Z (大文字) です。

**△注意** 本製品の仕様により、WinCDRの設定ダイアログボックス( \* )で「[レ]-許可」を選択できません。

\* [レ]-許可 [ ]が含まれるダイアログボックスは、WinCDRのメイン画面で次のメニューを選択すると表示されます。

- ・[設定]-[基本設定]      ・[設定]-[トラック設定]

次のページへ続く

## PacketMan

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し / 書き込みをするライティングソフトウェアです。

- Windows 用のライティングソフトウェアです。対応 OS は WindowsMe/98 です。
- 小さなパケット単位で書き込むので、バッファアンダーランが発生しません。
- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚(マウスでのドラッグ&ドロップ操作)でデータを書き込みます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、ファイルを削除できます。  
CD-RW メディアを使用している場合は、削除によって空き容量が増えますが、CD-R メディアの場合は増えません ( 削除情報が書き込まれます )。

## MacCDR

- Mac OS 用のライティングソフトウェアです。
  - ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスター CD が作成できます。
  - CD のバックアップが可能です。  
詳しい方法は、別冊「MacCDR ユーザーガイド」を参照してください。
  - HFS ( Apple 専用ファイルシステム ) と Hybrid ( ISO9660 と HFS フォーマットの混在フォーマット ) での書き込みが可能です。  
Hybrid 形式で作成した CD は、Macintosh と Windows の両方で読み出せます。
- △注意** Macintosh のスリープ機能は必ず無効にしておいてください。有効になっていると、書き込みに失敗することがあります。

## ライティングソフトウェアの比較

: 対応 - : 非対応

	WinCDR (WindowsMe/98/2000)	PacketMan (WindowsMe/98)	MacCDR (Macintosh)
ISO9660 ( CD-ROM の標準ファイルフォーマット )		-	
CD-DA ( 音楽 CD フォーマット )		-	
Mixed Mode CD ( CD-DA とデータの混在フォーマット )		-	
CD-ROM XA ( ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット )		-	
フォト CD ( フォト CD イメージファイルのコピー )		-	
CD-ROM Mode1			
CD Extra		-	
マルチセッションサポート ( 追記記録方式 )		-	
パケットライト ( 追記記録方式 )	-		-
ディスクアットワンス		-	
トラックアットワンス ( 追記記録方式 )		-	
セッションアットワンス		-	
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・ 中間ファイルを作成せず、CD イメージをリアルタイムで書き込む			
ハードディスク上での ISO イメージ作成 ・ CD イメージをハードディスクに作成してから CD へ書き込むので、CD へ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要		-	
CD を作成する前の書き込み前のテスト		-	
ロングファイル名サポート			
Joliet ( DOS 名と 64 文字までのファイル名 )		-	-
ISO9660 レベル 1 標準 ( 8.3 )		-	
HFS ( Apple 専用ファイルシステム )	-	-	
Hybrid ( ISO9660 + HFS )	-	-	

## 書き込み方式

CRWU 付属のライティングソフトウェアは、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア	
ディスクアットワンス	WinCDR	MacCDR
トラックアットワンス	WinCDR	MacCDR
セッションアットワンス	WinCDR	MacCDR
パケットライト	PacketMan	

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。【P18「ライティングソフトウェアの特徴」】

### ディスクアットワンス方式

CRWU 付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- ・リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- ・1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- ・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
- ・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

 **書き込み時に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込みます。**

### トラックアットワンス方式

CRWU 付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- ・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
- ・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

 **・2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。**

- ・1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、WinCDRやMacCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。

 **書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込みます。**

### セッションアットワンス方式

CRWU 付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- ・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- ・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

 **音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。**

### パケットライト方式

CRWU 付属のライティングソフトウェア「PacketMan」は、この書き込み方式に対応しています。

- ・パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
- ・パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

## 書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくはカタログを参照してください。

- CD-RWメディア ..... RICOH、三菱化学、TDK、日立マクセル
- CD-RWメディア(High Speed対応) ..... RICOH、三菱化学
- CD-Rメディア ..... 太陽誘電、RICOH、三井化学、富士FILM、SONY、イメージオン、ONKYO、TDK、PHILIPS、三菱化学、日立マクセル、KODAK、バイオニア

## 制限事項

< CD-RW について >

CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。  
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。  
CD-RW対応の弊社製ドライブ(2000年12月現在)は次のとおりです。

CRWiF、CRWU、CRWS、CRWI、CDRW、CDRシリーズ  
DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAMT5.2G、RAM5.2G/A  
DVD-ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB  
CDS-S40、S35SL、S24SL、S24  
CDI-48FB、40FB、32FB、24FB  
CDN-D24VA、D24EX、D12EX

使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカーまたはCD-ROMドライブのメーカーにお問い合わせください。

CD-RWでは、1000回以上のデータの書き換えが可能です。

データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをする場合は、High Speedに対応したCD-RWメディアを使用してください。High Speedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。



# 読み出し

CRWU は、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。

- 音楽 CD (CD-DA)
- CD-ROM (Mode1)
- CD-ROM XA Mode2 (Form1, Form2)
- Video CD
- CD TEXT (\*1)
- CD Extra
- Photo CD (\*2)

\*1 再生用ソフトウェアが CD TEXT に対応している必要があります。

\*2 読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

**メモ** 書き込み時に CRWU を読み込みのドライブとして使用する場合、選択できる読み込み速度は、32 倍速 (\*3)、20 倍速 (\*3)、8 倍速、4 倍速、1 倍速です。

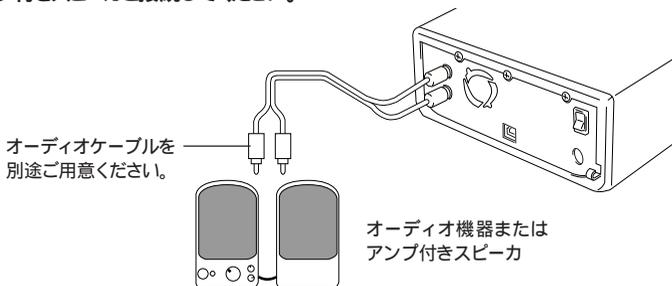
\*3 選択できますが、実際の読み込み速度は最大 8 倍速となります。

**注意** PacketMan で書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにも PacketMan のドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、WinCDR の CD-ROM に収録されている PacketMan リーダーをインストールしてください。PacketMan リーダーをインストールするには、WinCDR の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、インストール画面が表示されたら [PacketMan Reader] をクリックします。

CRWU にオーディオ機器を接続すれば、音楽CDの演奏が楽しめます。

## オーディオ機器の接続

CRWU 前面にあるヘッドホンジャックは使用できません。音楽CDをCRWUで聞くには、図のようにオーディオ機器またはアンプ付きスピーカと接続してください。



## 再生のしかた

### Windows 搭載パソコン

WinCDR に付属のCDプレーヤーを使用します。このCDプレーヤーは、WinCDRのインストール後に使用できます。

[スタート] - [プログラム(P)] - [WinCDR] - [CDプレーヤー]と選択します。

操作方法は、CDプレーヤーのポップアップウィンドウ(操作ボタン上にマウスカーソルを重ねると表示される文字情報)を参照してください。

Windowsに標準で付属しているCD再生機能でも再生できます。操作方法は、Windowsのヘルプを参照してください。

### Macintosh

OS 付属の「Apple CD オーディオプレーヤー」を使用します。

「Apple CD オーディオプレーヤー」の使用方法は、Mac OSのヘルプを参照してください。

**△注意** ミックスモード形式(データ+音楽)のCDは、CRWUで音楽部分の再生をすることができません。パソコン本体のCD-ROMドライブにCDをセットして音楽を再生してください。

## 困ったときは

CRWUを使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

### 一般的なトラブル

#### CRWUが認識されない

CRWUが正しく接続されていない

USBケーブル、ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。

- ・Windows搭載パソコン...【別冊「はじめにお読みください」】
- ・Macintosh .....【P13】

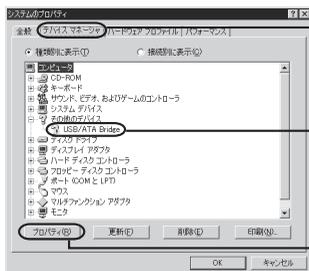
ドライバが正しくインストールされていない

簡単セットアップを実行する前にCRWUにUSBケーブルを接続すると、ドライバが正しくインストールされません。簡単セットアップを実行したにもかかわらずCD-ROMドライブのアイコンが追加されない場合は、次の手順でドライバをインストールし直してください。

WindowsMe

1 [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ(R)] を選択します。

2

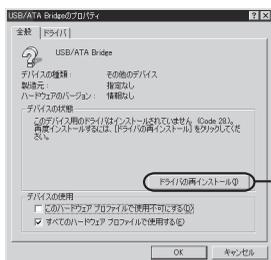


[ デバイス マネージャ ]タブをクリックします。

[ その他のデバイス ]の下に表示されている [ USB/ATA Bridge ]をクリックします。

[ プロパティ(R) ]ボタンをクリックします。

3



[ ドライバの再インストール(I) ]ボタンをクリックします。

4



[ 次へ > ] ボタンをクリックします。

付属のCD-ROM「CRWUシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。  
 CD-ROMドライブが無い場合は、付属のフロッピーディスク「CRWUシリーズドライバディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

[ 適切なドライバを自動的に検索する (推奨) (A) ] をクリックしてチェックマーク (・) を付けます。

CD-ROMをセットした場合、「簡単セットアップ」が起動することがあります。その場合は、ウインドウ右上の **X** をクリックして「簡単セットアップ」を終了させてください。

5



[ 完了 ] ボタンをクリックします。

6 続いて、「USB-IDE Mass Storage」のドライバをインストールするための [ 新しいハードウェアの追加ウィザード ] が、自動的に起動します。手順4、5に従って操作します。

Windows98の場合

1 P24「 WindowsMe 」の手順1～手順3に従って操作します。

2



[ 次へ > ] ボタンをクリックします。

3



[ 次へ > ] ボタンをクリックします。

付属のCD-ROM「CRWUシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。  
 CD-ROMドライブが無い場合は、付属のフロッピーディスク「CRWUシリーズドライバディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

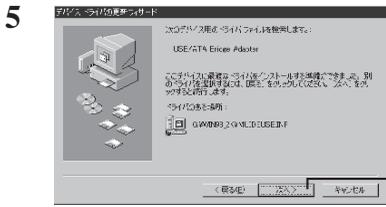
[ 現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを選択する (推奨) ] をクリックしてチェックマーク (・) を付けます。

CD-ROMをセットした場合、「簡単セットアップ」が起動することがあります。その場合は、ウインドウ右上の **X** をクリックして「簡単セットアップ」を終了させてください。



[ 検索場所の指定(L) ]をクリックして  
 チェックマーク(✓)を付け、  
 F:\WIN98\_2Kと入力します。  
 下線部にはユーティリティCD、またはドライバ  
 ディスクをセットしたドライブ名を入力します。

[ 次へ ] ボタンをクリックします。



[ 次へ ] ボタンをクリックします。

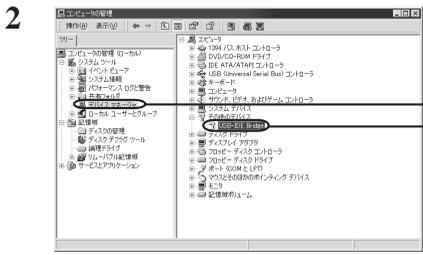


[ 完了 ] ボタンをクリックします。

7 続いて、「USB- IDE Mass Storage」のドライバをインストールするための[新しいハードウェアの追加ウィザード]が、自動的に起動します。手順2～6に従って操作します。

Windows2000

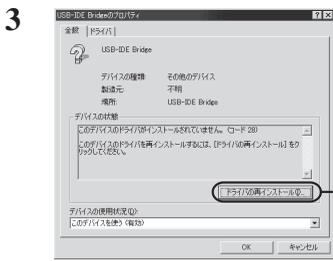
1 [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックし、[管理]を選択します。



[ デバイス マネージャ ]をクリックします。

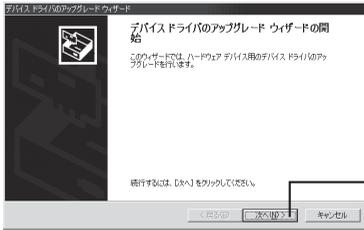
[ その他のデバイス ]の下にある[ USB-  
 IDE Bridge ]を右クリックし、 [ プロパ  
 ティ(R) ]を選択します。

\* お使いの環境によっては、デバイス名が  
 [USB/ATA Bridge]と表示されることがあり  
 ます。



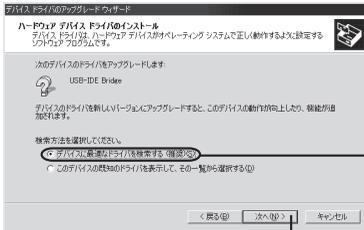
[ ドライバの再インストール(I) ] ボタンをク  
 リックします。

4



[ 次へ(N) > ] ボタンをクリックします。

5



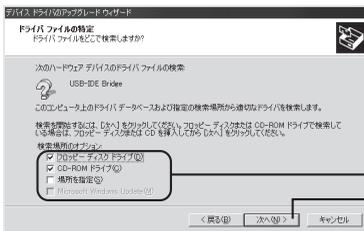
[ 次へ(N) > ] ボタンをクリックします。

付属のCD-ROM「CRWUシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。CD-ROMドライブが無い場合は、付属のフロッピーディスク「CRWUシリーズドライバディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

[ デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)(S) ] をクリックしてチェックマーク(・)を付けます。

CD-ROMをセットした場合、「簡単セットアップ」が起動することがあります。その場合は、ウィンドウ右上のXをクリックして「簡単セットアップ」を終了させてください。

6



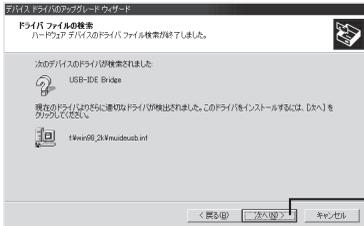
[ フロッピー ディスク ドライブ(D) ]、[ CD-ROMドライブ(C) ] をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。

[ 次へ(N) > ] ボタンをクリックします。

6

付録

7



[ 次へ(N) > ] ボタンをクリックします。

8



[ 完了 ] ボタンをクリックします。

## トレーが排出されない

---

パソコンの電源がOFFになっている、またはパソコンがCRWUを認識していない

CRWUの電源が「AUTO」になっている場合は、「ON」に切り替えてください。電源が強制的にONの状態になるので、イジェクトボタンを押してトレーを出すことができます。

## パソコンが起動しない

---

パソコンの環境が壊れた

パソコンに付属の起動ディスクとCD-ROMを使用して、OSを再セットアップしてください。WinCDRの「NORTON Ghost」機能であらかじめバックアップCDを作成しておけば、被害を最小限にできます。【P32「OSの再セットアップ」】

## PacketManをインストールしたら内蔵CD-ROMドライブが使えなくなった

---

次のパソコンでは、PacketManのドライバが競合し、内蔵CD-ROMドライブが使用できないことがあります。

- ・ パソコンを起動しなくてもCD-ROMドライブでCDの再生などができる機種

この場合、内蔵CD-ROMドライブとPacketManを同時に使うことはできません。内蔵CD-ROMドライブを使うときは、タスクバーのPacketManのアイコンを右クリックし、「PacketManを無効にする」を選択してください。

## OSを終了するとCRWUのトレーが排出される(Macintosh)

---

一部のMacintoshでは、CRWUにCDを入れたままOSを終了するとCRWUのトレーが排出され、CRWUの電源がOFFの状態になります。このようなときはCDを取り出した後、CRWUの電源スイッチを「ON」にし、トレーを軽く押して戻します。トレーを戻した後は、CRWUの電源スイッチは必ず「AUTO」にしてください。

OSを終了する前に、CRWUからCDを取り出ししておくことをおすすめします。

## 読み出し時のトラブル

### 2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない / 読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している

ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。

CDが汚れている、または破損している

CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。

CDが裏返しになっている

CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレイに載せてください。

### CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応していない

CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWメディアに対応したドライブで読み出してください。【P21「制限事項」】

### WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名(8+3形式)で書き込んでください。

### 作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した

弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

### 読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている

CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

### オーディオ機器から音楽CDの音声が聴こえない

オーディオケーブルが正しく接続されていない

オーディオ機器やパソコン(またはサウンドボード)のマニュアルを参照して、正しく接続してください。

## 書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される(バッファアンダーランが発生する)

BURN-Proof機能が無効になっている

・WinCDRの[設定]メニューで**基本設定**を選択します。この画面でBURN-Proof機能を有効(初期設定)に変更してください。【「WinCDRユーザーガイド(\*)」参照】

\*WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

・MacCDRの[ファイル]メニューで**環境設定**を選択します。この画面でBURN-Proof機能を有効(初期設定)に変更してください。【「MacCDRユーザーガイド」参照】

### CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない

CRWU付属のライティングソフトウェアを使用してください。

CD-ROM、音楽CD(CD-DA)がセットされている

CD-R/RWメディアにだけデータを書き込みます。CD-ROMや音楽CD(CD-DA)などには書き込みません。

CRWUの電源が入っていない

CRWUにACアダプタが正しく接続されているか確認してください。

USBケーブルが正しく接続されていない

CRWUを含むUSB機器にUSBケーブルを正しく接続してください。

### CD-R/RWメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている

ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。

メディアの容量が足りない

新しいメディアに書き込んでください。

他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している

他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。CRWUで書き込んだメディアを使用してください。

トラックアウトワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している

ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。

### 書き込みができない

メディアが対応していない

CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。ライティングソフトで設定した書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

メディアが傷ついたり汚れが付着している

メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。

ライティングソフトウェアがCRWUに対応していない

CRWUに付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカーに対応しているかどうかお問い合わせください。

## パケットライト方式で書き込んだCD-R/RWメディアを読み出せない

CD-ROMドライブがパケットライト方式に対応していない

CD-ROMドライブによっては、パケットライト方式に対応していない物があります。

読み出しを行うパソコンにPacketManのドライバがインストールされていない

読み出すパソコンにPacketManリーダーをインストールする必要があります。WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら、[PacketMan Reader]をクリックします。

## 音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない

CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、CRWUで音楽CDを再生してキャプチャしてください。

読み込み速度が適切でない

音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を8倍速以下に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド(\*)」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。

\*WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

音楽CDに傷がある

音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

## 書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる

音楽CDの書き込み時は、オンザフライでの書き込みやコンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

## オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない

CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、CRWUにCDをセットしてバックアップを行ってください。

## CRWUを読み出しドライブにした場合に、他のCD-R/RWドライブでオンザフライ方式でのCDのバックアップができない

CD-R/RWドライブによっては、オンザフライ方式でCDをバックアップできないことがあります。その場合は、CRWUだけを使用してCDをバックアップしてください。

## PaketManで書き込みするとシステムが停止する

Windows98(Second Editionを除く)でユニバーサルシリアルバスコントローラに「NEC PCI to USB Host Controller」をお使いの場合、PacketManで書き込みした際にシステムが停止することがあります。この場合は、マイクロソフト社のホームページ <http://www.microsoft.com/japan/> からWindows98サービスパック1をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

ユニバーサルシリアルバスコントローラの確認手順は次のとおりです。

[マイコンピュータ]アイコンを右クリック [プロパティ(R)]をクリック [デバイスマネージャ]タブをクリック [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]を確認

## DVD-RAMドライブから音楽CDを読み出せない

DVD-RAMドライブ 弊社製DVD-RAM5.2G/Aなどにセットした音楽CDからWAVEデータを作成する場合、音楽データを読み出せないことがあります。この場合はCRWUに音楽CDをセットし、CRWUから音楽データを読み出してください。

## OSの再セットアップ

システム環境が壊れてパソコンが起動しなくなったときのための準備と、対処方法を説明しています。

**△注意** Macintoshを使用している場合、本製品などのUSB接続のドライブを使用してOSを再セットアップすることはできません。再セットアップには、パソコン本体のCD-ROMドライブなどを使用してください。

正常な状態のときに作成したバックアップデータを復元する

WinCDRには簡単にCD-R/RWメディアにバックアップが作成できるNORTON Ghost(\*)が付属しています。

万々に備えてバックアップを作成しておくことをおすすめします。

\* NORTON Ghost:付属のアプリケーション社製WinCDRに含まれるバックアップユーティリティ

【WinCDRインストール時にスタートメニューに登録される「WinCDRユーザーガイド」参照】

**△注意** USB-FDDモデル(USBコネクタが1つしかなく、フロッピードライブがUSBで接続されている機種)のパソコンでバックアップするには、別途弊社製USBハブ(UHB-S7/S4)が必要です。USBハブを別途用意して本製品とフロッピードライブを同時に使用できる環境にする必要があります。書き込み中はUSBケーブルに触らないでください。

パソコンに付属の再セットアップCD-ROMでパソコン購入時状態のデータを復元する。

**△注意** 次のすべての条件を満たす場合は、パソコンに付属の再セットアップCD-ROMでデータを復元することができません。NORTON Ghostでバックアップの作成と復元を行ってください。

- ・パソコンにCD-ROMドライブが内蔵されていない
- ・付属の「起動ディスク作成ユーティリティ」の選択画面で表示されないパソコン【P34「パソコンに付属の起動ディスクを書き換えるときの注意事項」参照】

## 万々に備えての準備

万々に備え、次の手順で準備してください。

< 現在使用しているパソコン環境を復元できるようにしたい >

NORTON GhostでGhost用起動ディスクを作成する  
【「WinCDRユーザーガイド(\*)」参照】

システムが正常に動作しているときに、NORTON GhostでCD-R/RWメディアにバックアップを作成する  
【「WinCDRユーザーガイド(\*)」参照】

Ghost用起動ディスク、バックアップしたCD-R/RWメディアは、復元するときに必要になります。大切に保管しておいてください。

\*「WinCDRユーザーガイド」は、WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

< パソコン購入時の状態に復元したい >

復元するには次のものが必要です。  
大切に保管しておいてください。

- ・パソコンに付属の起動ディスク
- ・パソコンに付属の再セットアップ用CD-ROM

起動ディスクや再セットアップ用CD-ROMの名称は、お使いのパソコンによって異なります。

次のページへ続く

- △注意** ・ ATAPI CD-ROMドライブが内蔵されていないパソコンを使用している場合  
 本製品を復元するには、起動ディスクを付属の起動ディスク作成ユーティリティで書き換える必要があります。【P33「起動ディスク作成ユーティリティの使いかた」参照】
- ・ ATAPI CD-ROMドライブが内蔵されているパソコンを使用している場合  
 データの復元には、内蔵CD-ROMドライブを使ってください。起動ディスクはそのまま使用できます。起動ディスク作成ユーティリティで書き換える必要はありません。

## パソコンが起動しなくなったとき(パソコンの環境を復元するとき)

復元の手順は次のとおりです。

<バックアップしておいたパソコン環境を復元したい>

<パソコン購入時の状態に復元したい>

Ghost用起動ディスクをフロッピードライブにセットする

パソコンに付属の起動ディスクをフロッピードライブにセットする

ATAPI CD-ROMドライブで復元する

本製品で復元する  
 下記の起動ディスク作成ユーティリティで起動ディスクを書き換えます。  
 バックアップしたCD-R/RWメディアをセットします。

バックアップしたCD-R/RWメディアをセットします。

ATAPI CD-ROM\*ドライブで復元する

バックアップしたCD-R/RWメディアをセットします。

本製品で復元する  
 (P34に記載のノートパソコンのみ)  
 下記の起動ディスク作成ユーティリティで起動ディスクを書き換えます。  
 バックアップしたCD-R/RWメディアをセットします。

バックアップしたCD-R/RWメディアからデータを復元する  
 【「WinCDRユーザーガイド(＊)」参照】

パソコンに付属の再セットアップ用CD-ROMからデータを復元する  
 【パソコン本体のマニュアル参照】

復元完了

バックアップを作成した時点の状態に復元されます。システムに異常が無いときにバックアップデータを作成しておいてください。  
 またバックアップ作成後に作成・変更したデータは復元されません。

復元完了

パソコンを購入した状態に復元されます。購入後に作成・変更したデータは復元されません。

\* 「WinCDRユーザーガイド」は、WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

## 起動ディスク作成ユーティリティの使いかた

### 起動ディスク作成ユーティリティとは

起動ディスクでパソコンを起動したときでも、本製品(USB接続のCD-RWドライブ)を使用できるよう、パソコンに付属の起動ディスクや、Ghostで作成した起動ディスクの内容を書き換えるプログラムです。

パソコンにCD-ROMドライブが内蔵されていないなどの理由でデータの復元に本製品を使用するときは、本書に記載の手順で起動ディスクを書き換える必要があります。

次のページへ続く

- △注意** ・システムが正常に動作しているときに、起動ディスクを書き換えておいてください。システムが正常に動作しない状態では、起動ディスクを書き換えることはできません。
- ・NORTON Ghostおよび起動ディスクユーティリティはMac OSには対応していません。MacOSで再セットアップに本製品を使用することはできません。あらかじめご了承ください。

## パソコンに付属の起動ディスクを書き換えるときの注意事項

起動ディスク作成ユーティリティで表示される選択肢に無いパソコンをお使いの方は、パソコンに付属の起動ディスクを書き換えることができません。2000年12月現在、起動ディスク作成ユーティリティで選択できるパソコンは次のとおりです。

SONY . . . . . VAIO 505S

東芝 . . . . . DynaBook SS3440、DS60P Libretto ff1100

シャープ . . . . . Mebius PC-PJ1-M3、PC-PJ2

NEC . . . . . VersaProNX VA26D/WT、VA30D/WT、VA26D/WX、VA26H/WS

起動ディスク作成ユーティリティで選択できないパソコンをお使いの方は、NORTON Ghostでシステムのバックアップを行ってください。バックアップの際に作成したGhost用起動ディスクは、起動ディスク作成ユーティリティで書き換える必要があります。

SONY VAIO 505SIは、起動ディスクがパソコンに付属していません。事前に起動ディスク( PCCARD用起動ディスク )を作成してください。他の起動ディスクでは、本製品でパソコン付属の再セットアップ CD-ROMを使って再セットアップすることはできません。

SHARP Mebius PC-PJ1-MA、PCJ2は、起動ディスクがパソコンに付属していません。事前に起動ディスク( リカバリCD用起動ディスク )を作成してください。

USB-FDDモデル( USBコネクタが1つしかなく、フロッピードライブがUSBで接続されている機種 )のパソコンでは、Windowsで作成した起動ディスクや、パソコンに付属の起動ディスクを起動ディスク作成ユーティリティで書き換えても本製品を使用できません。NORTON Ghostでバックアップの作成と復元を行ってください。

## 起動ディスクの書き換え

本製品を使ってデータを復元できるように、起動ディスクの内容を書き換えます。付属の起動ディスク作成ユーティリティを使用し、次の手順で操作してください。

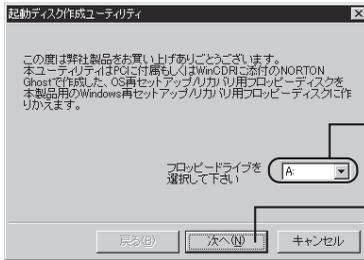
- 1 周辺機器 パソコンの順に電源スイッチをONにして、WindowsMe/98を起動します。
- 2 付属の「CRWUシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。  
簡単セットアップが起動します。

### 簡単セットアップが起動しない場合

- 1 [ スタート ] - [ ファイル名を指定して実行 (R) ] を選択します。
- 2 [ 名前 (0) : ] に E : ¥EASYSETUP . EXE と入力して [ OK ] ボタンをクリックします。  
下線部にはCD-ROMドライブのドライブ名を入力します。
- 3 [ 添付ソフト「起動ディスク作成ユーティリティ」の実行 ] を選択し、[ 開始 ] ボタンをクリックします。

次のページへ続く

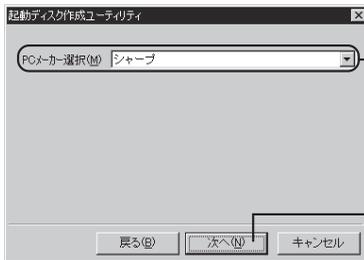
4



起動ディスクの書き換えに使用するフロッピードライブを選択します。

[ 次へ(N) ] ボタンをクリックします。

5

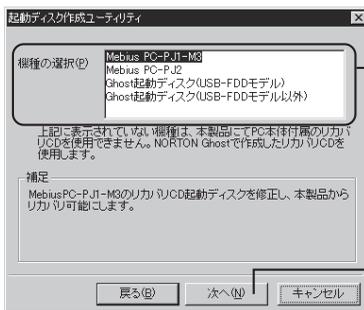


▼ をクリックしてリストを表示し、使用しているパソコンのメーカーを選択します。

[ 次へ(N) ] ボタンをクリックします。

Windowsで作成した起動ディスクで起動したときに本製品を使うには、起動ディスクを書き換える必要があります。Windowsで作成した起動ディスクを書き換えるには[その他のメーカー]を選択し、使用しているOSに応じて[Windows98SE 起動ディスク1]、[WindowsME 起動ディスク]のいずれかを選んでください。Windows2000では[Ghost 起動ディスク]を選んでください。

6



使用しているパソコン名、またはGhost起動ディスク(\*)を選択します。

[ 次へ(N) ] ボタンをクリックします。

画面はWindows98の例です。

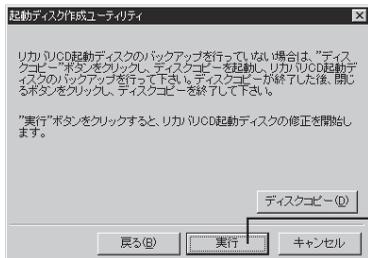
使用しているパソコンが選択肢に無いときは、パソコンに付属の起動ディスクを書き換えないでください。あらかじめGhost 起動ディスクを作成し、Ghost 起動ディスクを書き換えてください。

\* Ghostで作成した起動ディスクを書き換えるときは

- USB-FDDモデル(USBコネクタが一つしかなく、フロッピードライブがUSBで接続されている機種)のパソコンをお使いの方は、[Ghost 起動ディスク(USB-FDDモデル)]を選択してください。
- USB-FDDモデル以外のパソコンをお使いの方は、[Ghost 起動ディスク(USB-FDDモデル以外)]を選択してください。

次のページへ続く

## 8



メッセージに従って、起動ディスクのバックアップディスクを、フロッピードライブにセットします(メッセージはパソコンによって異なります)。

Windows98で作成した起動ディスクは2枚ありますが、1枚目のバックアップディスクを使用します。

[実行]ボタンをクリックします。

まだ起動ディスクのバックアップディスクを作成していない場合は、[ディスクコピー (D)] ボタンをクリックし、画面の指示に従って作成してください。

**△注意** 以降の操作によって、起動ディスクの内容が書き換えられます。必ずバックアップディスクを使用してください。

## 9 以降は画面の指示に従って操作してください。

以上で起動ディスクは本製品を認識するように書き換えられました。

**▼次へ** 本製品をパソコンに接続し、書き換えた起動ディスクを使用してデータを復元してください。

・NORTON Ghostを使用する場合.....【P36「NORTON Ghostでシステムを復元する」参照】

・システムを再セットアップする場合.....【パソコン本体のマニュアル参照】

**△注意** 「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示された場合は、ハードディスクに任意のフォルダを作成し、そのフォルダに起動ディスク作成ユーティリティ(「CRWUシリーズユーティリティCD」の#Utilityフォルダの中の内容すべて)をコピーしてください。コピーが終わったら、ハードディスクにコピーしたCDSUP.EXEをダブルクリックし、P35の手順5に進んでください。

## NORTON Ghostでシステムを復元する

NORTON Ghostを使ってCD-R/RWメディアにバックアップしたシステムを、次の手順でハードディスクに復元します。

**△注意** ・弊社製USB接続CD-RWドライブを使用している場合、NORTON Ghostによるシステム復元には、Ghost用起動ディスクの書き換えが必要です。起動ディスクを書き換えていない場合は、次の作業を行う前に書き換えてください。【P34「起動ディスクの書き換え」】

・NORTON Ghostを使ってデータを復元すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、次の作業を行う前にデータをバックアップしてください。

- 1 パソコンと周辺機器(本製品を含む)を接続し、周辺機器の電源スイッチをONにします。
- 2 フロッピードライブにGhost用起動ディスクをセットし、本製品にシステムをバックアップし、CD-R/RWメディアをセットします。  
バックアップしたCD-R/RWメディアが複数枚ある場合は、1枚目のメディアをセットしてください。
- 3 パソコンの電源スイッチをONにします。

この後の操作は、「WinCDRユーザーガイド」内の「システムがインストールされているハードディスクへのイメージファイル復元方法」の手順3以降を参照してください。

\* 「WinCDRユーザーガイド」は、WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

# CD革命/Virtualについて

☞ **メモ** CD革命/Virtualは本製品の動作に必要なソフトウェアではありません。必要に応じてお使いください。

## 概要

アーク情報システム社製「CD革命/Virtual」を使うと、CDの内容をハードディスクに取り込んで（仮想CDの作成）、CD革命/Virtualが作る仮想CD-ROMドライブで再生することができます。

仮想CD-ROMドライブを最大23ドライブ作れるため、複数のCDを仮想CDにしておけば、CDを出し入れする手間が省けます。また、仮想CD-ROMドライブは一般的なCD-ROMドライブよりアクセス速度が高速（最大約150倍速\*）なため、CDから起動するアプリケーションも快適に動作します。

\* イメージを作成したハードディスクのスピードに依存します。

## 必要なシステム環境

- WindowsMe/98/95が正常に動作するコンピュータ
- 10MB以上のハードディスクの空き（別に仮想CDを収納するための空きが必要）
- CD-ROMドライブ
- WindowsMe/98/95でサウンドが正常に再生できる、DirectSound対応の環境

△ **注意** ・サウンドボードやCD-ROMドライブによっては、オーディオ取り込み機能が正常に動作しないことがあります。

- 特別な再生プログラムを必要とするCDの取り込みには対応していません。
- ごくまれに、プロテクトなどによってCDが取り込めないことがあります。

## CD革命/Virtual ver3.0でのイメージファイルの作成について

次のCDはイメージファイルを作成できません。

- 71曲以上収録されている音楽CD
- トラックアットワンス方式で追加したCD
- パケットライト方式で書き込んだもの

## マニュアルの読みかた

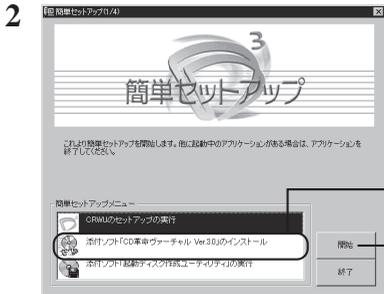
CD革命/Virtualをインストールし、[スタート]-[プログラム(P)]-[CD革命Virtual3.0]-[CD革命のユーザーズマニュアル]を選択します。

☞ **メモ** 「CD革命のユーザーズマニュアル(PDFファイル)」を見るためには、パソコンにアドビシステムズ社製「Acrobat Reader」がインストールされている必要があります。Acrobat ReaderはWinCDRのCD-ROMからインストールできます。CD-ROMドライブにWinCDRのCD-ROMをセットし、画面に表示される指示に従ってインストールしてください。

「CD革命のユーザーズマニュアル」に記載されている株式会社アーク情報システムのお問い合わせ先は、古い情報です。本書のP38に記載されている「サポート窓口」までお問い合わせください。

## インストールのしかた

1 付属CD-ROM「CRWUシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。「簡単セットアップ」が起動します。



[ 添付ソフト「CD革命ヴァーチャル Ver3.0」のインストール ] をクリックして反転表示にします。

[ 開始 ] ボタンをクリックします。

3 以降は画面の指示に従って操作してください。

## アンインストールのしかた

[ スタート ] - [ プログラム ( P ) ] - [ CD革命Virtual3.0 ] - [ CD革命Virtualのアンインストール ] を選択します。以降は画面の指示に従って操作してください。

## バージョンアップに関する注意

アーク情報システム社のホームページに掲載されている「CD革命/Virtual Ver3.04[DVD対応版]無償アップデートプログラム」は、本製品付属のCD革命/Virtualに使用できません。

## サポート窓口

CD革命/Virtualの操作方法や製品情報は、「株式会社アーク情報システム」までお問い合わせください。お問い合わせ先は次のとおりです。

住所:	〒110-0005 東京都台東区上野3-2-1フジオビル6F 株式会社アーク情報システム
電話番号:	03-5812-3455
ファックス番号:	03-5812-3452
インターネットホームページ:	<a href="http://www.ark-info-sys.co.jp/">http://www.ark-info-sys.co.jp/</a>

株式会社メルコでは、CD革命/Virtualに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

# 仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ  
(<http://www.melcoinc.co.jp/>) を参照してください。

インターフェース	USB	
準拠規格	USB Specification Rev1.1	
コネクタ	USB シリズB	
アクセスタイム (平均)	150msec (ランダムアクセス時)	
データバッファサイズ	2MB	
転送速度	CD-RW 書き込み時	最大1200KB/sec (最大8倍速) (*1、*2)、600KB/sec(4倍速)、 300KB/sec(2倍速)
	CD-R 書き込み時	最大1200KB/sec(最大8倍速) (*1)、600KB/sec (4倍速)、 150KB/sec(1倍速)
	読み出し時	最大1200KB/sec (最大8倍速) (*1)
サイズ	160(W)× 65(H)× 274(D)mm	
重量	1.8kg	
消費電力	平均：13W 最大：22W	
動作環境	温度	5～35
	湿度	20～80% (結露無きこと)
対応機種	USBインターフェースを標準搭載する次の機種 ・DOS/V機 (OADG仕様) (*3) ・NEC製 PC98-NXシリーズ (*3) ・Apple社製 iMac、PowerMacintosh G3、PowerMac G4、 iBook、PowerBook、PowerMac G4 Cube	
対応OS	・WindowsMe/98/2000 ・Mac OS8.6以降	

- \*1 お使いのパソコンのUSBの転送速度に依存します。
- \*2 CD-RWメディアに4倍速を越える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。
- \*3 USBインターフェースを搭載していない機種をお使いの場合は、弊社製USBインターフェースボードUCI-P2を別途お買い求めいただき、パソコンに取り付けてください。

# パッケージの内容

CRWU(本体).....	1台	CD-Rメディア(700MB/80分).....	1枚
ACアダプタ.....	1個	ユーザーズマニュアル(本書).....	1冊
USBケーブル(1m).....	1本	はじめにお読みください.....	1枚
CD-ROM「CRWUシリーズユーティリティCD」 (Windows用).....	1枚	CD革命/Virtual用ユーザー登録はがき.....	1枚
フロッピーディスク「CRWUシリーズドライバ ディスク」(Windows用).....	1枚	ユーザー登録はがき、保証書 (株式会社メルコ).....	1枚
パソコンにCD-ROMドライブが無い場合に使用 します。		ユーザー登録はがきは保証書を切り離した 後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご 返送ください。また、切り離した保証書は、大切 に保管してください。	
WinCDR・PacketMan(Windows用)、 MacCDR( Macintosh用 )		別紙で追加情報が同梱されているときは、必 ず参照してください。	
・CD-ROM.....	1枚		
・WinCDRクイックスタートガイド.....	1冊		
・PacketManクイックスタートガイド.....	1枚		
・MacCDRユーザーガイド.....	1冊		
WinCDRクイックスタートガイドおよびMacCDRユー ザーガイドの巻末にはお客様登録カード(株式 会社アプリクス)がとじ込まれています。必要 事項をご記入の上、必ずご返送ください。			

## 本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機(以下、テレビ)などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

- ・本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
- ・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

## 保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

## ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要な事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方であれば受けられません。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

## 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要な事項をご記入の上、製品と一緒に送ってください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

返送先【氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号】	発生頻度【必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他】
平日昼間の連絡先	コンピュータ【本体メーカー名/型番/シリアルナンバー】
【氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号】	ハードディスク【メーカー名/型番/シリアルナンバー】
修理対象のメルコ製品名	ディスプレイ【メーカー名/型番/シリアルナンバー】
弊社製品ハードウェア シリアルナンバー	その他周辺機器【メーカー名/型番/シリアルナンバー】
弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー	OS(オペレーティング・システム)
具体的な症状/エラーメッセージ	【ソフト名/メーカー名/バージョン】
発生状況【始めから/ある日突然/環境を変えたら】	製品以外の添付品【付属ソフトなど】

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。

宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスク内のデータは検査の際に削除いたします。また、ドライブユニットが故障の場合、同等のドライブユニットと交換させていただきます。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

## WinCDR、PacketMan、MacCDRのサポートについて

WinCDR **クイックスタートガイド**とMacCDR **ユーザーガイド**に**とじ込まれているお客様登録カード（株式会社アプリックス）は、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。**また、WinCDR、PacketMan、MacCDRの操作方法や製品情報は、「**株式会社アプリックス ユーザーサポート**」までお問い合わせください。【「WinCDR **クイックスタートガイド**」および「MacCDR **ユーザーガイド**」の1ページ参照】

株式会社メルコでは、WinCDR、PacketMan、MacCDRに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

## CD革命/Virtualのサポートについて

P38に記載されている**株式会社アーク情報システム**にてサポートを受け付けております。

株式会社メルコでは、CD革命/Virtualに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インター  
ネット

<http://www.melcoinc.co.jp/>



@nifty

MELCO Station <GO SMELCO>



製品  
サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東 京> 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00

土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00

<名古屋> 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00

祝日を除く

日曜日を除く

祝日を除く

事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

・コンピュータ名と使用OS

・本製品の製品名とシリアルナンバー

・現象（具体的なエラーメッセージなど）